

9/10(土) ふるさと新発見バスツアー

合併後は人口や面積が増え、まちの可能性が多彩に広がる「新石狩市」。観光や地域活動など、まちの魅力や個性も新たに増やしていきたいのですが、それにはまず、「石狩・厚田・浜益がそれぞれ長い時間をかけてはぐくみ受け継いできた文化や伝統を、お互いによく知ろう」と、合併に先立って、本市の未来を担う子どもたちを対象に「ふるさと新発見バスツアー」が行われました。

厚田発祥の地・古瀧

かつて大阪方面から来る弁財船が停泊した場所で、ニシンと交換に日用品が運ばれていました。なお、写真左が「弁財船投錨地」の碑、右が「厚田村発祥の地」の碑。



発足地区・厚田川
ツアー中、子どもたちが最も強い印象を受けたのが橋の上からのサケの遡上見学。でもこの日、目にしたのはどうやらサケ以外の魚だったよう…。とはいえ、透明度の高い川の流れには一同感激!



浜益・きむら果樹園

この日は、ほかにも「石狩市リサイクルプラザ」「北石狩衛生センター」「はまなすの丘公園」「海のプール」を車中見学!

車中で出された地名クイズ!
あなたは全部読めますか?
【石狩】 花畔・生振・樽川
【厚田】 押琴・安瀬・望来
【浜益】 幌・毘砂別・群別
正解はページの下です。

白銀の滝

国道231号沿いにある滝。ひんやりした気持ちの良さに子どもたちの元気も復活!バスに戻るときは思わずダッシュするほど。



石狩湾新港花畔ふ頭

年間2000隻もの船が入港する石狩湾新港。車中見学でしたが「初めて見た」と、感動していた浜益の男の子も。



待ちに待った昼食タイム!

厚田の女性団体が丹精こめて作ってくれた特製カレー。具には石狩のホッキ貝、厚田のタコ、浜益のホタテが入っていました。



はまなす郷土資料館(旧白鳥番屋)

「うちの資料館はすごいよ」と、浜益っ子たちも自慢のスポット。資料館では、蓄音機でレコード鑑賞しましたが、「何を言っているんだろう」と首をかしげる子どもたち。ちなみに聴いたのは「祇園小唄」でした。

企画・編集 藤田 雅之
取材・撮影 藤田 雅之
写真提供 石狩市観光課

石狩市役所前を出発

石狩から7人、厚田から3人、浜益からは8人が参加。「まちのことを知りたいと思った」「いっぱい友達を作ろうと思ったから」「歴史や文化が好きなので」など、その動機もさまざまでした。



未来のいしかりへ…私たちの提言

新しいまちの誕生に、子どもたちはどんな夢や希望を持っているのでしょうか。石狩市では、合併に先立って石狩・厚田・浜益の小学生を対象に、合併の思いをつづった作文を募集しました。ここでは、その中から最優秀作に選ばれた佐々木伽菜さんの作文をご紹介します。

私の村の未来と希望

浜益小学校六年

佐々木 伽菜



私は前に石狩市に住んでいました。その時に、石狩・浜益・厚田が合併することを知りました。その時は、別に自分には関係ない、と思っていました。でも、その日に来た新聞の中に二枚のチラシが入っていました。一枚は、「浜益と合併してもかえって石狩市がピンボーになるだけだ」、などという事が書いてありました。もう一枚には、「浜益・厚田と合併したらいろいろなことが安定して、より暮らしやすい町ができる」「みたいなきょうが書いてありました。私は、一つの町の中でも全然違うことを言っているの。三市村が一緒になって本当にうまくいくのだろうか?と、思いました。次の日に、私はお父さんに市村合併のことを聞いてみました。すると、厚田は多くの人が合併賛成でした。ちなみに、浜益は、ほとんどが賛成だけど、少しの人が反対でした。私は、こんなに人々の考え方が分かれるなら、合併なん

てしなくていいのに…、と思いました。石狩に住むのは夏休みだけだったので、夏休みが終わると私は浜益へ帰りました。家に帰って、地元の写真館へ行くと、いつのまにか「合併案内」ができていました。私は、写真館のおばさんに「アンケートを書いてくださいね」といわれ、何を書いていいかわからなかったのですが、「いいと思います」と適当なことを書きました。でも、写真館のおばさんが「カナちゃん賛成か反対か書くだけで何かが変わるかもしれないよ」と言っていたので、きちんと書きました。これで、私は「自分に関係ない」というのは間違いだったんだ!と思いました。私は、今でも合併はよく分からないし、私が願うことが現実になることも限らないと思っていました。今、夢があると楽しいので大人の皆さんもたくさん夢と希望を持って未来を明るく見た方がいいと思います。私が未来の石狩市に見る夢は、「浜益の人口が増えて、もっと大きな観光地になること」。石狩市、厚田村と協力して夢と希望にあふれる素晴らしい石狩市をつくらせていきたいです。